

海外短信



～インドネシア～

「ブカ・プアサ」

神東アクサルタ コーティング システムズ株式会社

～ラマダンの夜に頂く美味しい食事～

こちらインドネシアでは、6月29日から1ヶ月間のラマダン(断食月)に入っています。この間、ムスリム(イスラム教徒：インドネシアでは人口の約9割)は、日出前から日没まで飲食を絶ちます(水も飲みません)。

この断食(プアサ)は人間の欲望を絶ち、邪悪な心から脱し、心身を清めると共に、慈悲の心や食べ物に感謝することを認識する、ムスリムにとって非常に大切で神聖な行事です。

断食の期間は会社の就業開始時間も早まり、定時になると皆一斉に帰路につきます。この時期には工場の生産性(稼働率)も落ちるようです。まさに「腹は減っては戦出来ぬ」ですね。この断食は他の宗教の人は対象とされませんが、お酒の販売や日本人駐在員や出張者のオアシスともいえるカラオケなども自粛されます。修行の足りない我々にとっては辛いところです。

このように常夏の当地で日中の断食は大変ですが、日没を告げる太鼓の音を合図にしてブカ・プアサ(1日の断食明け)が始まり、家族や友人との食事を楽しまます。私も先日、会社の皆とブカ・プアサに参加しました。(断食はしていませんが、参加OKでした)美味しいインドネシア料理で会話も弾み、宗教をととても大事にするインドネシア人の習慣を少しでも体験できました。

さて、今年はあと何回ブカ・プアサに参加させてもらえるかな？
でも、断食はやっぱり無理です。



会社(SPI)の仲間と。美味しい食事みんな笑顔です。



TMMIN(トヨタ・モーター・マニュファクチュアリング・インドネシア)のローカルの皆さんを招待してのブカ・プアサ。食事楽しんでくれたかな？



日没のブカ・プアサを告げる太鼓。
この時期には町のいたるところに置いてあります。